

私立大学研究ブランディング事業

平成30年度の進捗状況

学校法人番号	021004	学校法人名	八戸工業大学		
大学名	八戸工業大学				
事業名	北東北の人口減少社会における自律的課題解決に向けたハブ機能構築と社会的資本の維持開発研究事業				
申請タイプ	タイプA	支援期間	5年	収容定員	1600人
参画組織	大学院工学研究科、工学部、感性デザイン学部、基礎教育研究センター、地域産業総合研究所、工作技術センター				
事業概要	<p>地域大学としての本学の特徴は、地域課題やリソースに関する情報を集約して、解決「工程」を示すことができる点にある。企業と生活者が行政とともに自律的かつ主体的に地域発展に携わり、雇用創出と定住者拡大が実現できるよう、社会資本および社会的資産に関する研究と地域資源・地域課題に関する情報集積機能を強化するとともに、ブランディング活動を通じて地域に不可欠な課題解決ハブとなる大学となるための諸施策を講ずる。</p>				
①事業目的	<p>本事業では、北東北地域の課題とめざす姿に対する地域の工学系の大学としての役割と本学のこれまでの実績を背景として、寒冷地域かつ人口減地域における防災および社会インフラの長寿命化技術の開発研究をさらに加速させると共にインフラ・まちづくりに関わる社会システムを新たな研究テーマとして設定し実施する。さらに、これらの研究を基盤としてインフラ・地域づくりに関連する人材の育成と研究成果の社会実装も含めた総合的インフラ研究拠点を構築することで本学の独自色を地域に打ち出すことを目指す。また、これらの活動を通して、地域の「安全・安心・快適な暮らしの創造」と「農林水産業・工業・観光業など産業・雇用の活性化」に貢献することを目的とする。</p>				
②平成30年度の実施目標及び実施計画	<p>【実施目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○研究実施プロジェクトチーム <ul style="list-style-type: none"> (A) インフラ社会システム研究部門：人材育成手法の開発 (B) インフラ基盤技術研究部門：老朽化に関する基礎的な知見の取得と要素技術の開発 (C) 防災技術研究部門：災害特性の把握と被害予測手法の開発 ○人材育成・社会実装推進プロジェクトチーム <ul style="list-style-type: none"> 地域のインフラ・マネジメントを担う人材育成プログラムの試行と改善 ○ブランディング推進プロジェクトチーム <ul style="list-style-type: none"> ブランディング活動とPDCAサイクルの始動 <p>【実施計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○研究実施プロジェクトチーム <ul style="list-style-type: none"> (A) インフラ社会システム研究部門：若手教職員を育成する全学的研修体制を地域に公開し、産業界と教育界のニーズとシーズを整合させるとともに、公正・透明な人材育成評価システムを整備する。 (B) インフラ基盤技術研究部門：各チームにおいて必要な要素技術の開発を行うとともに、劣化メカニズムなどの基礎的な知見を収集するための研究を実施する。 (C) 防災技術研究部門：各災害についての特性の把握を行い、被害予測手法を開発する。 ○人材育成・社会実装推進プロジェクトチーム <ul style="list-style-type: none"> 前年度に検討した人材育成プログラムを技術者を対象とした講習会や研修会等を通して継続教育の観点から試行する。また、一部のプログラムは学生の授業の中に組み込み試行する。そして、さらなる地域ニーズ・課題を踏まえてプログラムを改善する。 さらに、既存の技術者資格制度との整合・補完を図り、本プログラムの認定制度を整備する。 ○ブランディング推進プロジェクトチーム <ul style="list-style-type: none"> SNSとWebサイトの運用開始。シンポジウムとワークショップの実施。地域の高校との共同事業募集開始。地域再生を意識した導入転換教育の実施。キャリアデザイン教育の試行実施。アニュアルレポート作成。 				

③平成30年度の事業成果

○研究実施プロジェクトチーム
 本学の研究ブランディング事業が認知されてきた結果として、自治体から地域コミュニティの活性化等を推進するための事業委託、他研究機関との共同研究の実施など、研究成果の活用および研究の発展的展開を行う基盤が整備されてきた。

○人材育成・社会実装推進プロジェクトチーム
 地域の課題・ニーズを踏まえ、人材育成プログラムの認定制度の準備を行った。平成30年12月3日道路技術懇談会(社会人技術者向け)、平成31年2月26日インフラマネジメント技術講習会～地域のインフラ維持管理のあり方について考える～(社会人技術者向け)、平成31年3月11日に3.11防災フォーラム2019(一般市民向け)をなどを開催した。

○ブランディング推進プロジェクトチーム
 平成30年7月5日(木)にアイディエーションワークショップ、平成30年6月2日に研究バリューワークショップを開催し、本事業のコミュニケーションコンセプトを策定した。また、コンセプトブック、コンセプトサイトを作成し、これらを利用した広報活動を行った。地域の高校との共同事業に関してはアンケート調査を実施した。

④平成30年度の自己点検・評価及び外部評価の結果

(自己点検・評価)
 研究ブランディング事業推進会議にて、指標をもとに、自己点検・評価を行った。

○研究実施プロジェクトチーム

<指標>	【目標】	【実績】	【達成度】
(1) 査読付き論文・国際学会発表件数	12件	6件	50%
(2) 口頭発表・報告等の件数	23件	30件	130%

○人材育成・社会実装推進プロジェクトチーム

<指標>	【目標】	【実績】	【達成度】
(1) 人材育成・社会実装プログラム数(講演会、講習会など)	3件	5件	160%
(2) (1)の講師数	6人	9人	150%
(3) (1)の参加人数	150人	688人	459%

○ブランディング推進プロジェクトチーム

<指標>	【目標】	【達成度】
(1) 在学生に対する事業計画の情報提供	90%	90%
(2) 事業に係るSNSの利用計画の策定と事業Webサイトの構成内容の確定	50%	80%
(3) 地域シンポジウムと地域ワークショップの実実施計画の策定	100%	100%
(4) 地域の高校との共同事業に関する状況調査、呼びかけの開始	75%	100%
(5) 導入転換・キャリアデザイン教育の試行的実施と次年度シラバスの作成	100%	50%
(6) アニュアルレポートの作成	100%	100%

(外部評価)
 平成31年2月25日に八戸工業大学教育研究後援会 点検・評価部会を開催し、外部評価を行った。今年度の事業成果及び来年度の実施計画を説明し、8名の評価者から以下の評価・意見を頂いた。

○3つのプロジェクトチームについて、当初の計画・目標は概ね達成している。しかし、研究成果の発表については努力していただきたい。あらゆる機会を利用して本事業の研究を広げていただきたい。

○地域のインフラ整備、大学の特性を活かした研究開発及び防災等については、各種メディア等にも取り上げられており、学長を中心とした積極的な取り組みは高く評価する。

○本事業は地域の活性化に欠かせない取組だと思ふ。ブランド力を発信し、より一層の発展を期待する。

⑤平成30年度の補助金の使用状況

研究費：平膜テストセル、車両、リチウムイオン蓄電盤
 広報・普及費：印刷製本費(チラシ、コンセプトブック等)、Webサイト構築
 その他：研究打合せ旅費、外部講師等招聘謝金・旅費